

平成 28 年度「異文化理解」教育プログラム事業計画

(自平成 28 年 4 月 1 日～至平成 29 年 3 月 31 日)

1 平成 28 年度数値目標

平成 27 年度の見込みを踏まえ、以下の目標と致します。

実施校数は、物理的にはほぼ受付処理の MAX に近い状況で、12 月以降の申込みについては、27 年度同様お断りする学校があると思います。

特に今年度より「オリンピック・パラリンピック教育」が都内全ての公立校で実施されますので、このプログラムの利用が多くなると見込まれます。

実施校数	315 校(N E T)	(27 年度目標 310 校)
講義時間数	2,150 時間	(27 年度目標 2,050 時間)

28 年度留学生講師料(予算案) ¥23,650,000 27 年度予算 ¥22,550,000

2 ネット利用による講義の申込について

平成 27 年度よりネットによる申し込み受付を開始いたしましたが、申込みは例年通り順調に推移しておりますので、本年度も引き続き、基本的には協会ホームページより申込受付を行い、書類業務をネットで処理するシステムを継続いたします。

もちろん、学校側の都合でネットが使用できないケースもありますので、FAX での受け付けも従来通りの手順で行います。FAX での申し込みは、全体の 25%以下になる見込みです。

平成 27 年 4 月よりシステムを導入したばかりで、業務処理上のデータ収集に不完全なところもあり、順次改善してまいります。

3 サイト運営関係の充実

昨年度より、ホームページの改良、フェイスブックの利用開始などネット関連の改善や運営が始まり、協会の窓口として、また協会の顔として機能するようになってきました。

今年度は、さらにより充実したサイト運営に重点をおき、情報の収集はもとより、漏えいやウイルス対策にも積極的に対応するように考えております。

28 年度サイト運営費(予算案) ¥411,400 27 年度予算 ¥211,400

4 講義内容の充実と学校・教育委員会へのアプローチ

新人講師教育及び学校での講義指導は、宮地専務理事、富山常務理事及び堀内シニアアドバイザーの3名が担当し、引き続き文部科学省・東京都教育委員会の対応、及び新規校の開拓・継続校の維持にも力を注ぎます。

5 講師募集六大学への寄付継続

講師募集に際して、各大学では無償でポスターの掲示、学内サイトへの募集情報の掲載、および応募用紙の配付等募集協力をしていただいております。

協会は、より良い留学生の応募を維持できるよう、現在、六大学(東京大学・筑波大学・一橋大学・早稲田大学・東京工業大学・東京外国語大学)へ留学生課を窓口にして留学生支援の目的で寄付を継続いたします。

寄付金は、各大学とも年間5万円を予定しています。

28年度支払寄付金(予算案) ¥300,000 27年度予算 ¥200,000

6 留学生講師の募集対策

今年度の新人講師募集は、例年より早めに9月26日より募集を開始して、面接(11月26日・27日)、講習会(来年1月21日・22日)、現場研修会(来年2月～3月)の日時で予定しております。

募集方法は、従来の大学留学生課への協力依頼はもとより、現役講師の紹介による応募の増加を図りたいと考えております。

特に現役の留学生講師からの紹介は、優秀な学生の応募が期待できるので、重点的に対策を行いたいと思います。

さらに今年度は、フェイスブックやホームページ、新しいメディアを活用して多様な国々からの応募を見込んでおります。

講師数の増加は、学校からの希望地域の要望に対応するためにも重要な対策です。学校の要望に応えられる留学生講師の質とできるだけ多くの国・地域の講師を登録することが協会の存在意義に繋がることと思います。

7 関連団体との連携

- ① 留学生講師募集に協力して頂いている各大学留学生の担当部署
- ② 内閣府・文部科学省〈後援依頼〉の担当部署
- ③ 東京都教育委員会教育庁指導部〈後援・講習会講演依頼〉及び区市教育委員会(プログラムの認知)

従来通り、協会運営に欠かせない各団体との連携は、引き続き行います。

以上